

英国バンスフィールド油槽所爆発火災の原因は液面上限安全スイッチの設置及び試験ミス

平成17年12月11日午前6時01分（日本時間午後3時01分）に、英国ロンドンの北約40キロにあるハートフォードシャー県ヘメル・ヘムステッドのバンスフィールド油槽所で爆発・火災事故があり、石油タンク22基が炎上し、43名が負傷した事故については、本シリーズのNo.12（平成18年5月25日掲載）、当協会機関誌 **Safety & Tomorrow No.107**（2006.5）及び **No.108**（2006.7）に掲載しました。また、液面計の故障による漏えい事故の多いことから、液面計の故障等による屋外タンク貯蔵所の漏えい事故事例を本シリーズのNo.13として掲載し、注意喚起したところであります。

当火災事故の原因調査は英国安全衛生庁（HSE）が行っており、第1報から第3報の **Progress report** の内容紹介については既報の通りで、なお調査継続中ということでした。この度、7月13日に HSE から、**BUNCEFIELD MAJOR INCIDENT INVESTIGATION Initial report** が公表されました。当報告書によれば、事故を起こしたタンクの液面上限安全スイッチが回収調査され、レベルスイッチの設置及び試験（**installation and testing**）に問題のあったことが判明しました。このことから、HSE では、同一レベルスイッチを設置したタンクを緊急点検するよう、7月4日に **Safety Alert** を通知しました。HSE によれば、このレベルスイッチは、**Cynergy3 Components Limited** が製造した **TAV level switch** で、英国のみならず、ヨーロッパや北米に輸出されており、HSE がヨーロッパ、米国、カナダの関連工業団体に連絡したとのこと。日本に輸出されたとの報はありませんが、念のため確認すると共に、万が一当該スイッチが設置されている場合には、HSE の **Safety Alert** に従って設置状況をチェックしてください。また、今一度、危険物施設の液面計を重要保安部品と認識して、維持管理を徹底してください。

情報源：

BUNCEFIELD MAJOR INCIDENT INVESTIGATION Initial report

<http://www.buncefieldinvestigation.gov.uk/reports/initialreport.pdf>

Safety Alert to operators of "COMAH" oil/fuel storage sites & others storing hazardous substances in large tanks

<http://www.hse.gov.uk/comah/alerts/sa0106.htm>